

# 新知事には、良いものは良い、悪いものは悪いと主張を！ 原発再稼働については、隣接自治体もイエス、ノーを言えるように！ 消防器具置き場は消防活動の拠点、早急に改善を！



6月議会の一般質問が終わりまりました。  
私は、花角新知事と上越市の関係、原発再稼働と自治体同意、遅

【橋爪】新知事に対しては、良いこととは良い、悪いことは悪いと言うべきだ。新県政と上越市の関係についてどうしたいと考えているか。

【村山市長】県と基礎自治体、そして知事と市町村長との関係は、それぞれの権限と果たすべき役割を共に理解し合い、そして、協力・連携を図りながら、民生の安定、地域の振興に力を尽くしていくことが本分であると考えている。

【橋爪】柏崎刈羽原発で万が一、大きな事故が発生した場合、隣接自治体も被害を受ける可能性が大きい。再稼働については、立地自治体のみならず、近隣自治体にも同意を求めべきではないか。

【村山市長】再稼働については、国

れている消防器具置き場の改善などをとりあげ、村山市長の見解を求めました。  
今回はその大要を紹介します。

民に丁寧に説明し理解を得ることが必要だ。再稼働の同意を求める自治体の範囲の拡大については様々な意見がある。仮に同意が求められた場合には、再稼働の可否を判断する観点や評価すべき基準はどうなるのかなど、考えるべき点は多く、再稼働の同意を求める自治体の範囲についても、国が専門的な知見に基づき、評価基準等もあわせて示すべきだ。

【橋爪】消防器具置き場は消防団の活動の拠点だ。ところが、老朽化が進んでいる、耐火構造になっていないなど様々な課題がある。実態をキチンと把握し、早急に手を打つべきではないか。

【村山市長】360棟の器具置き場のうち45%、162棟が町内会や農家組合等の地域の皆さんの所有、残りの198棟は市が所有している。建物の数が多く、また、全体的に老朽化も進んでいるので、今後、消防団活動に必要な建物の再整理をしながら、財源の確保も含め、計画的な建て替えをどう進めていくかが課題だ。（現在の地域消防力の維持・確保を前提に）必要とされる消防部の再編成や現在ある消防器具置き場の適正な配備については、たたき台を作成し、各消防部や地域の皆さんと協議しながら具体の検討を進めることとしている。

【村山市長】360棟の器具置き場のうち45%、162棟が町内会や農家組合等の地域の皆さんの所有、残りの198棟は市が所有している。建物の数が多く、また、全体的に老朽化も進んでいるので、今後、消防団活動に必要な建物の再整理をしながら、財源の確保も含め、計画的な建て替えをどう進めていくかが課題だ。（現在の地域消防力の維持・確保を前提に）必要とされる消防部の再編成や現在ある消防器具置き場の適正な配備については、たたき台を作成し、各消防部や地域の皆さんと協議しながら具体の検討を進めることとしている。

## 市民と野党の共同、上越市では4連勝

全国注視の新潟県知事選、県議補選は10日、結果が出ました。

新潟県では2年前の参院選、知事選、衆院選と、市民と野党の共同候補が3連勝してきましたが、今回は惜敗しました。ただ、上越市では、知事選で池田ちかこ候補が圧勝、4連勝しました。

上越市寺にある池田事務所では10日、市民連合の馬場秀幸弁護士が挨拶、「この選挙結果は決して悲しむ数字ではない。今回の選挙で市民と野党の共同がこれまで以上に強まった」とのべ、来春、来夏のいっせ

い地方選、参院選に勝利していく決意を示しました。また、県議補選で初めて、市民と野党の共同候補となったひららぎ哲也候補は、「たくさんの人たちに応援してもらい、4万票台に乗せることが出来た。当選できなかったのは私の力不足」と挨拶しました。

選挙結果詳細は次号で書きます。



【ミヤマヨメナ】キク科の多年草。漢字で「深山嫁菜」と書きます。花期は5月～6月。ミヤコワスシの原種と言われています。私はこの花の名前が大好きです。花言葉は「忘れ得ぬ人」。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1862 2018.6.17  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら  
橋爪法一 検索



梅雨に入り、笹の葉が大きくなってきました。笹の葉はここ越後の地では、餅、笹団子、チマキ、押し寿司などを作るうえで必需品ですので、笹の葉採りがあちこちで見られるようになります。

母は長年にわたり笹の葉を採り続け、自家用だけでなく、市内北部在住の私の友人などに頼まれた分も採ってきました。採った笹の葉は、三輪自転車のかごに載せて家に運びました。笹の葉を自転車にどっさり載せて、ギーコ、ギーコとペダルをこぐ姿は喜びにあふれていました。

ただ、九〇歳を過ぎてからは、さすがに山に入って採ってくるのはきつくなってきた。笹の葉の量はがくと減りました。そして昨年から自分で採りに行かなくなりまして。その代わり、どうしても必要ときだけ大潟区に住む弟に頼んで採ってきてもらっています。

先だつての金曜日だったでしょうか、私が高田の事務所から地元に戻った際、母の様子を見るために、いつとき家に立ち寄りしました。母はテレビの前に立っていて、束ね終わった笹の葉をコメの三〇<sup>＊</sup>用紙袋にしまっていました。

母が束ねた笹の葉はけっこうたくさんありました。笹の葉の束のひとつには、「〇〇様。一五〇〇枚 四七枚」と書いた紙を挟んでありました。合計で一五四七枚の笹の葉を用意できましたよ、というメモです。どうやら、また私の友人に笹を頼まれたようです。

数日後、私は居間の南側にある廊下で笹かんじよしている母の姿を久しぶりに見ました。母はコタツのそばに敷いてあった長座布団を二つ折りにし、さらにその上に枕（まくら）を置いていました。驚いたのは、その枕の高さまで背中を倒した姿勢で

仕事をしていたことです。

笹かんじよをするとき、母は両足は伸ばし、その上にコメ袋を載せていました。右手で笹の葉を一枚一枚数え、左の手のひらにばたつ、ばたつと載せていく、五〇枚ずつの山が二つできると、輪ゴムを取り出し、一〇〇枚の束としてまとめる、スピードはゆっくりでしたが、丁寧に数えていることがよくわかりました。

母の独特の姿勢だと、少し顔を上げれば、廊下の外の様子や庭の景色などがよく見えます。母は言いました。「笹かんじよしていると、鳥が見えるがど。ツバメは巢の場所ねかとパパッと飛んでくるし、しつぽの長い小鳥が柿の木から下りてくる」と。笹かんじよと言えば、先日、まさかと思うことがありました。

この日も朝早く、玄関には大きなビニール袋に入った笹の葉が届いていました。弟が採ってきてくれたのです。

ところが、この日の朝、母の体調はすぐれませんでした。最近、私が三週間ほど風邪で苦しんだこともあって、母にうつしたのかと疑ったのですが、手にしびれがあるなど風邪とは別の症状でした。

医療機関で検査してもらったら、脳梗塞でした。ただ、思っていたよりも母の症状は軽く、ホッとしました。薬は二週間分もらってきましたので、安静にしているようにと母に言い、私は市役所へ行きました。

市役所では二時間ほど会議に出て、終わり次第、家に戻りました。居間に入って最初に目にしたのは笹の葉の束です。何と、テレビの脇に山になつていたのでした。

「おまん、また、笹かんじよしたがか」と母に聞くと、にこにこ笑っています。休むことを知らないのでしょうか、大正生まれのこの人は……。

## 核兵器禁止条約の調印を求める訴えに感動



「核兵器禁止条約の調印を求める意見書を政府に提出してほしい」という請願が8日の総務委員会で審査されました。

当日、請願者を代表して新潟県原爆被害者の会の山内悦子さんが訴えられましたが、その中身は実に感動的なものでした。以下はその大要です。

私は女学校4年生の時に広島で被爆した。父は内務省、いまで言えば国土交通省職員。(学徒動員で)私の会社は爆心地にあったが、原爆が落とされる2週間ほど前に、引越していたから、こうして生かされている。髪の毛はすぐに抜けず、3年ぐらいたってから抜けた。髪も眉もまつ毛も抜けると、自分の顔を見るのも怖いぐらいだった。夫はあわれと思ったのか、私を放り出しもしないでいてくれた。貧血がひどくて、私はじき死ぬと思っていた。でもあちら(お連れ合い)が先に逝き、私一人残っている。いま、被爆体験の話をおちらこちらでしている。核兵器を持って平和など絶対ありえない。世界が平和になるには核兵器の廃絶ということから願っている。新潟には被爆者は最初300人ほどいた。全部、兵隊さんだった。とくに魚沼の方にたくさんいらした。いま、ほとんど生きていない。ティーンエイジャーで被爆したのは私ひとりだ。

この請願、総務常任委員会では全会一致で採択されました。18日の本会議でも採択される見通しです。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月6日(水)	6月13日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.040	0.043
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.053	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.050